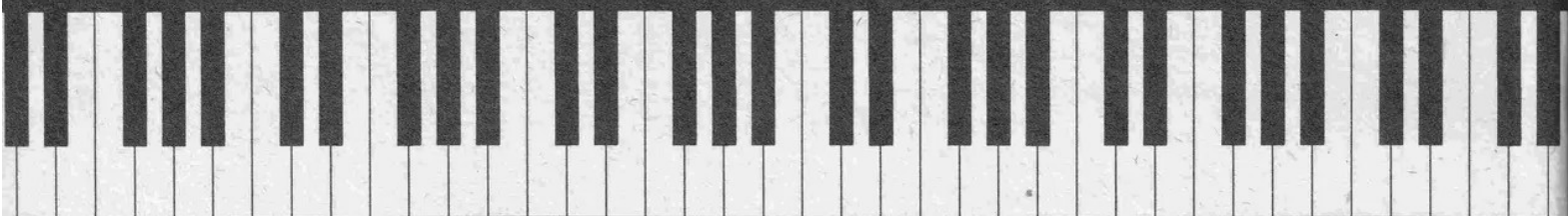


ピアノの恋人(再)



再 録

*

1

2

other side

yumegiwa

*

Oct.2005.



Amoureux de piano

✧

✧

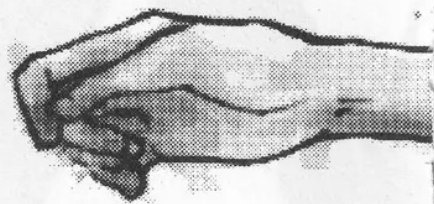
Revente



こんにちは とはじめましての伊藤です。
ピアノの再録です。色々と真に受けてすみません・・・
いっそすべての原稿を書き直したい勢いですが
どうしてもという数コマだけにとどめました。
この話は自分の中でのテーマが
乙女と百合ときれいなものだけ愛したいということで、
元々の拙さも相まって読み返すのもまた試練なのですが、
再録することを少しでも
喜んでいただけたら、楽しんでいただけたら幸いです。

本編はもうちょっと続きます。
以下続刊中、とか一度は言ってみたかった・・・
お手にとって下さってどうもありがとうございました。

2005年 残夏の折 伊藤でした





このルパート

処理が
少し雑だな

感情にまかせて
弾かずに

リズムを
丁寧に正確に…



もう一度
最初から

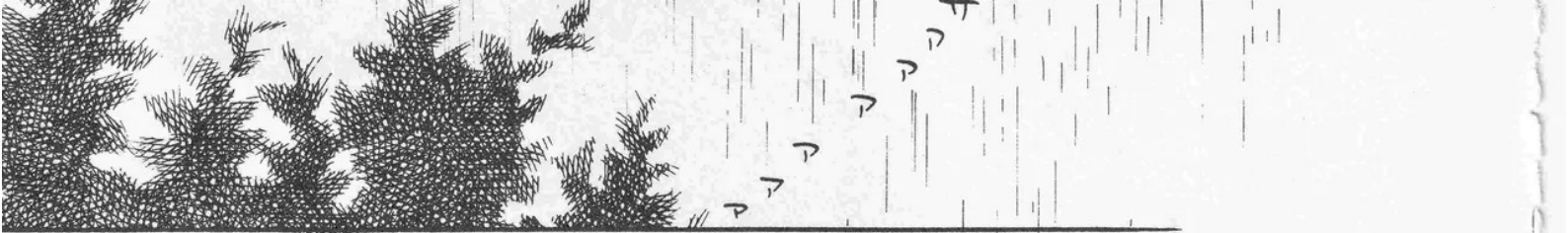


はい

私はピアノになりたい



ストップ!



雨の日はほんの少し
ピアノの機嫌が
悪くなる
湿気のせいだ



雨だ



…ノクターン
第2番
min. 21



逆光で
顔が見えない



鍵盤の上をやさしく滑る指

表情豊かなピアノニッシモ

…繊細な所作の
ひとつひとつが…

ピアノに向かって
何かいとおしげに囁いているみたい

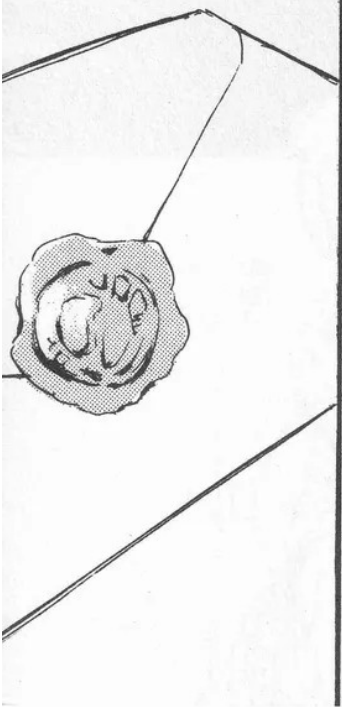


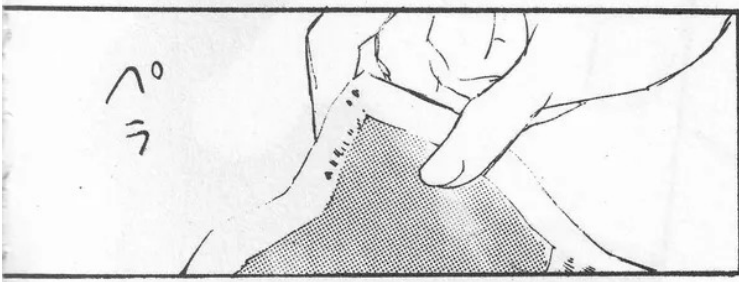
まるで

「Dにこんなトーンが出来るのが
くるといいな…」

恋人にするみたいに……

——吸い込まれる……







先生

? 隣に座っている



調律師って...

ああ



時間に適当な
奴だからな

腕は確か
なんだが



!



...調律師の人が
来るまで
こうしてて
いいですか?



どうぞ



先生、おれ

本当は
ピアノストより
なりたいたいもの
があるんです



ピアノになって
先生に弾かれない



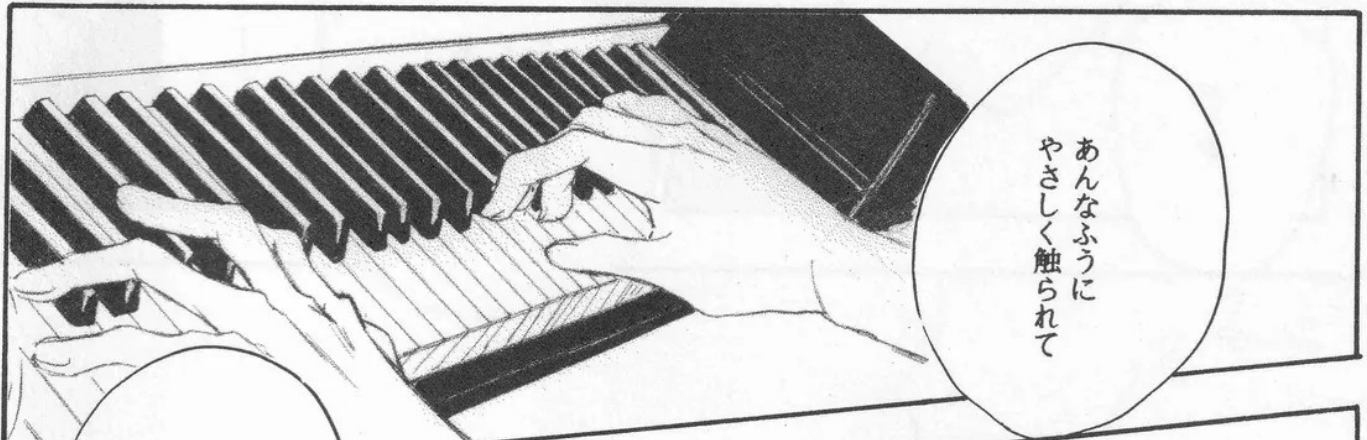
……
…ピアノに？

はい

「十子千子」

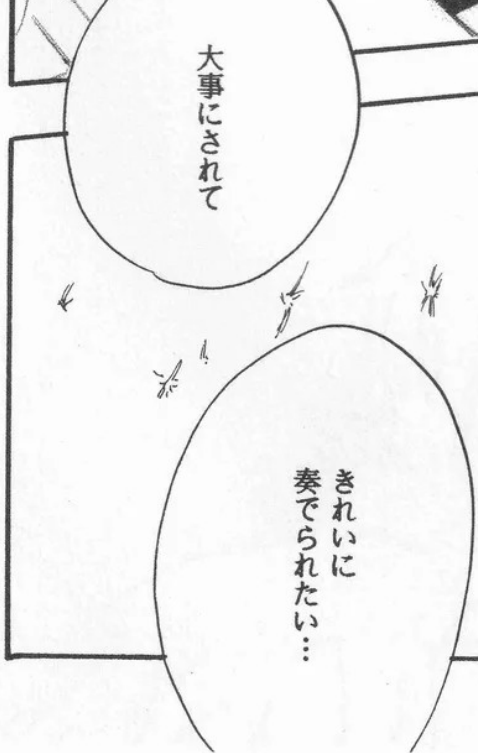
ピアノに
なりたいです

あめあがり



あんなふうに
やさしく触られて

大事にされて



きれいに
奏でられたい…

教えを請いながら

できませんか？

それが『先生の音楽』なのか

おれ

ただ愛してもらえたら
どんなに心地いいだろうかと

それとも『先生』なのか

先生のピアノになりたい

彼の

ピアノみたいに

1と2とコピーの再録です
3は頒布中
以下続いていきます



3・be on sale



2



1



Sault d' amour

例えば音楽が
何かのメッセージを
伝える手段だとしたら
私は日がな
歌い続けずにはいられない
ペーターベンがテレエゼに
かの曲を捧げたように
私はピアノを弾く
心を旋律に乗せて
体より彼方へ

ルートヴィヒ・ヴァン
ヴェーバー

ピアノ・ソナタ第8番

悦

《悲愴》

ホ
ム



やうつ!

今のどこが
悲愴だ!

さまー

譜面見
んのか
なんでそんな
コミカルなんか

変な所で勝手に
盛り上がって
リズムがお留守!

いっせよまことに
達成感感じた顔
しやがっ



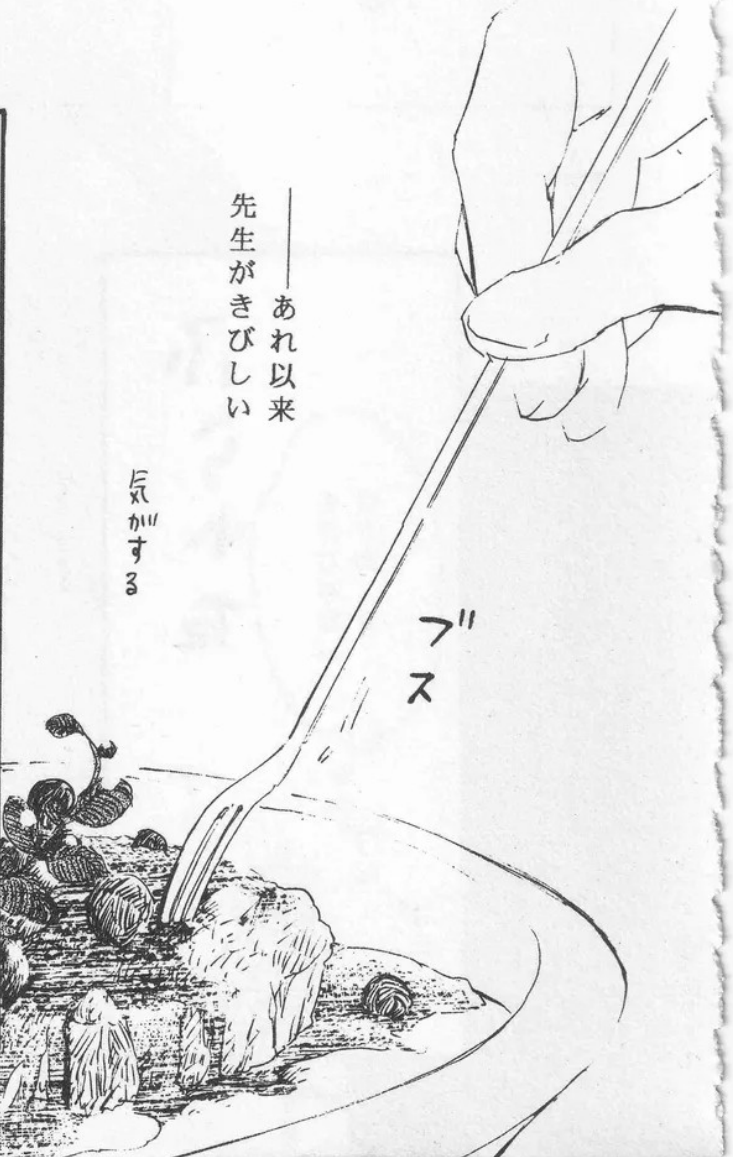
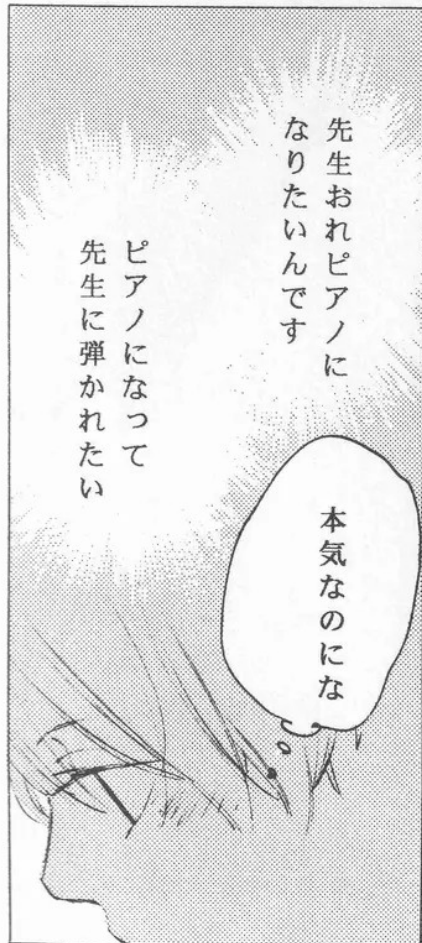


だからおれも
ペーターペンに
なったつもりで
感謝の気持ち
込めて弾きました！
ありがとう
パトロン様
って……

この曲って
ペーターペンが
駆け出しの頃
スポンサーに
なってくれた
侯爵に捧げた
曲なんですよ？

で、でも
先生

ん？



あれ以来
先生がきびしい

気がする

フ
ス

冗談と

とられたの
だろうか

先生おれピアノに
なりたいたいです

本気なのにな

ピアノになって
先生に弾かれない

「サンジ」

「人間は
ピアノにはなれない」

そんな答えが
ほしかったんじゃ

ないのに

あの時の先生の顔

笑ってたけど

拒絶してた

ふんやあ

あきらめない
けどね…!!

フ
フ
フ

先生！

先生！

おれピアノに
なりたいです

ピアノに



ピアノに

ハ
フ



はい

お約束の品

///
#

Chopin

///

International

Frederic Chopin

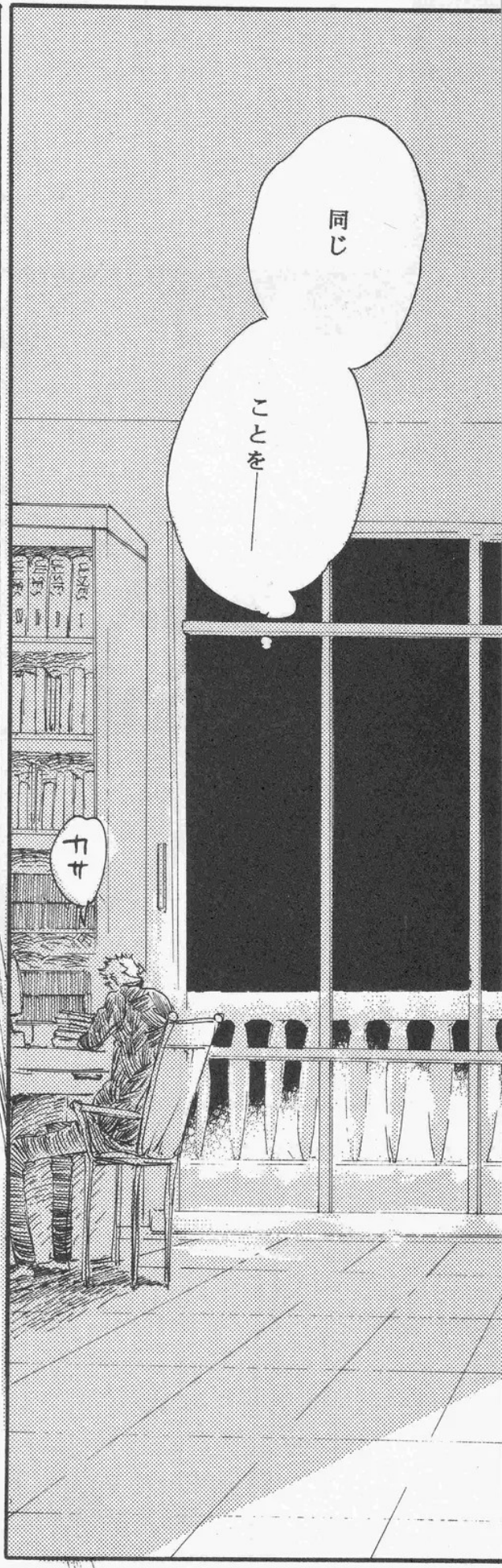
Piano Competition

PIANO STYLE



東の巨星

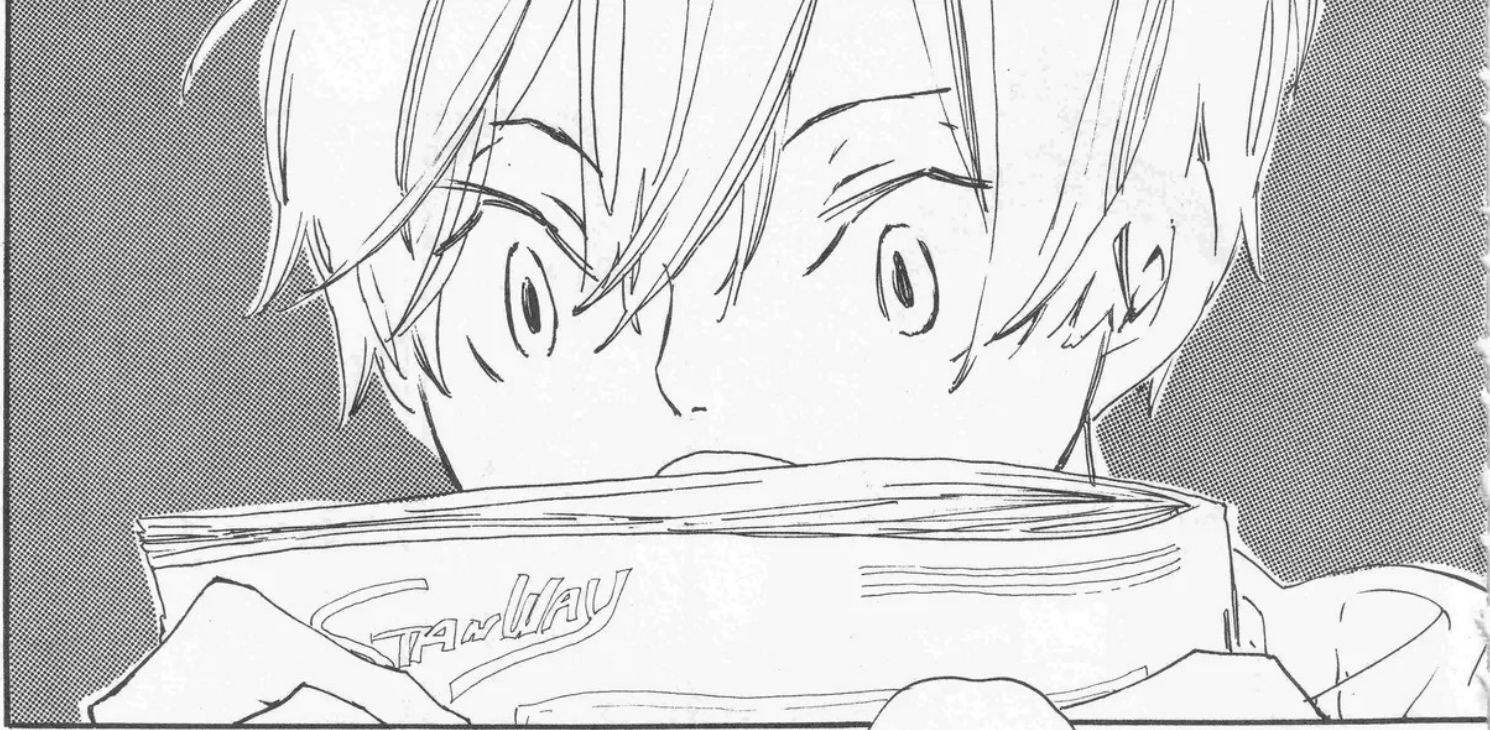
第12回シヨパン国際コンクール
木渕・授賞者演奏会



同じ

ことを

ナ
ナ



苦...!!

000,862,776
エース
エース

先生...

かわいい
だろう



ありがとー
エースー!!!

ほりあまあまあま

作業中は
コミュニケーション



見させないけど、お偉いさんです...



ニコニコ
ポ
ポ
ポ

世界
4大タイトル
千ヤイコマスキー
エリザブ
エリザブ

それ

4大タイトルを
総ナメ
しちゃった
時のだよ

サンジ君と
同年

えっ!!

ハハハハハ

生意気

ガニ

同じ年!?

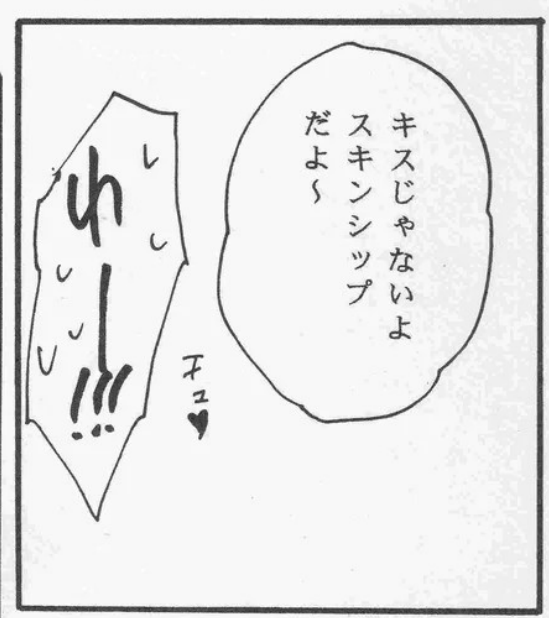


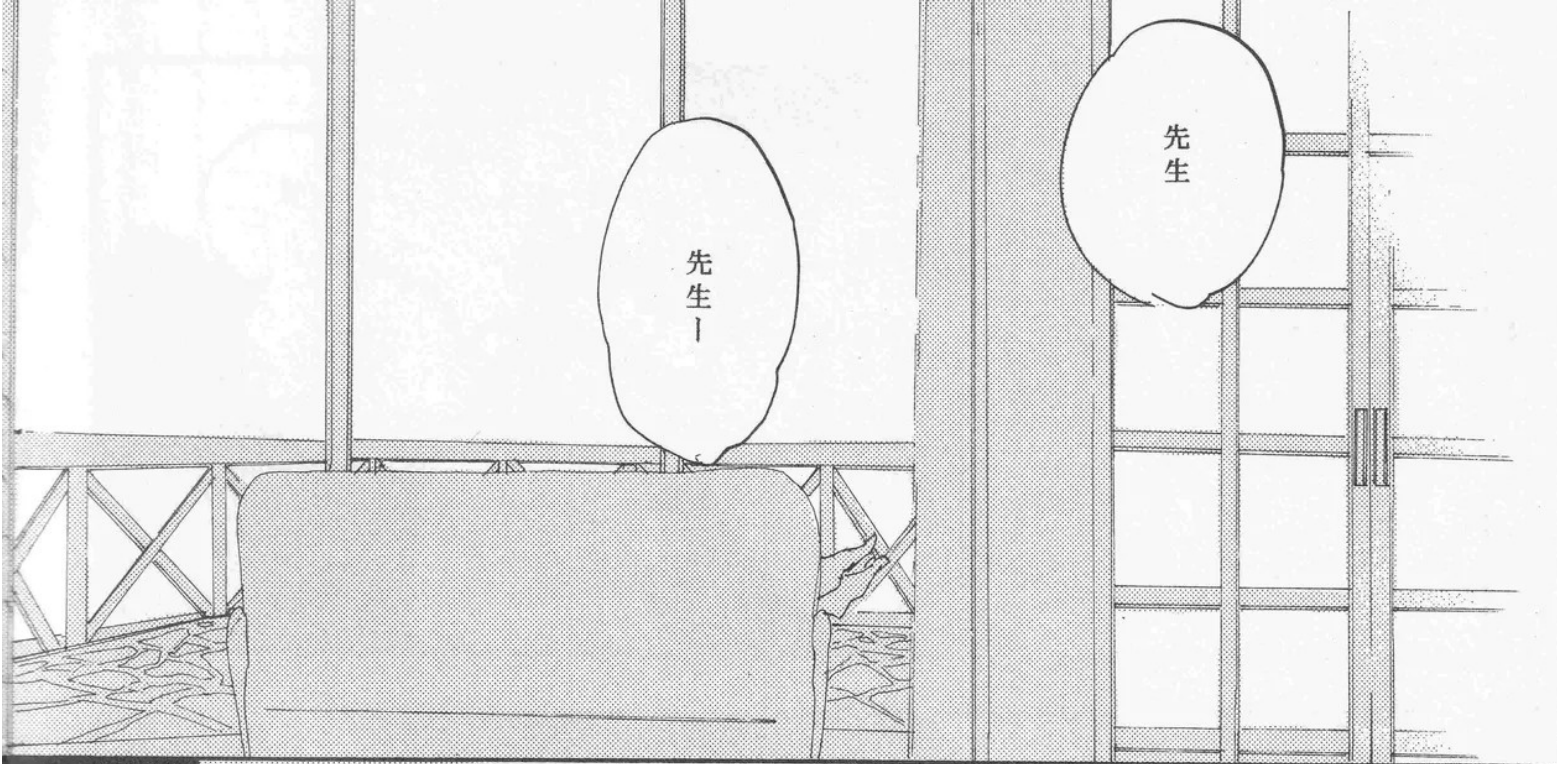
絶版した本を
手に入れるのは
むずかしいのよん



女子

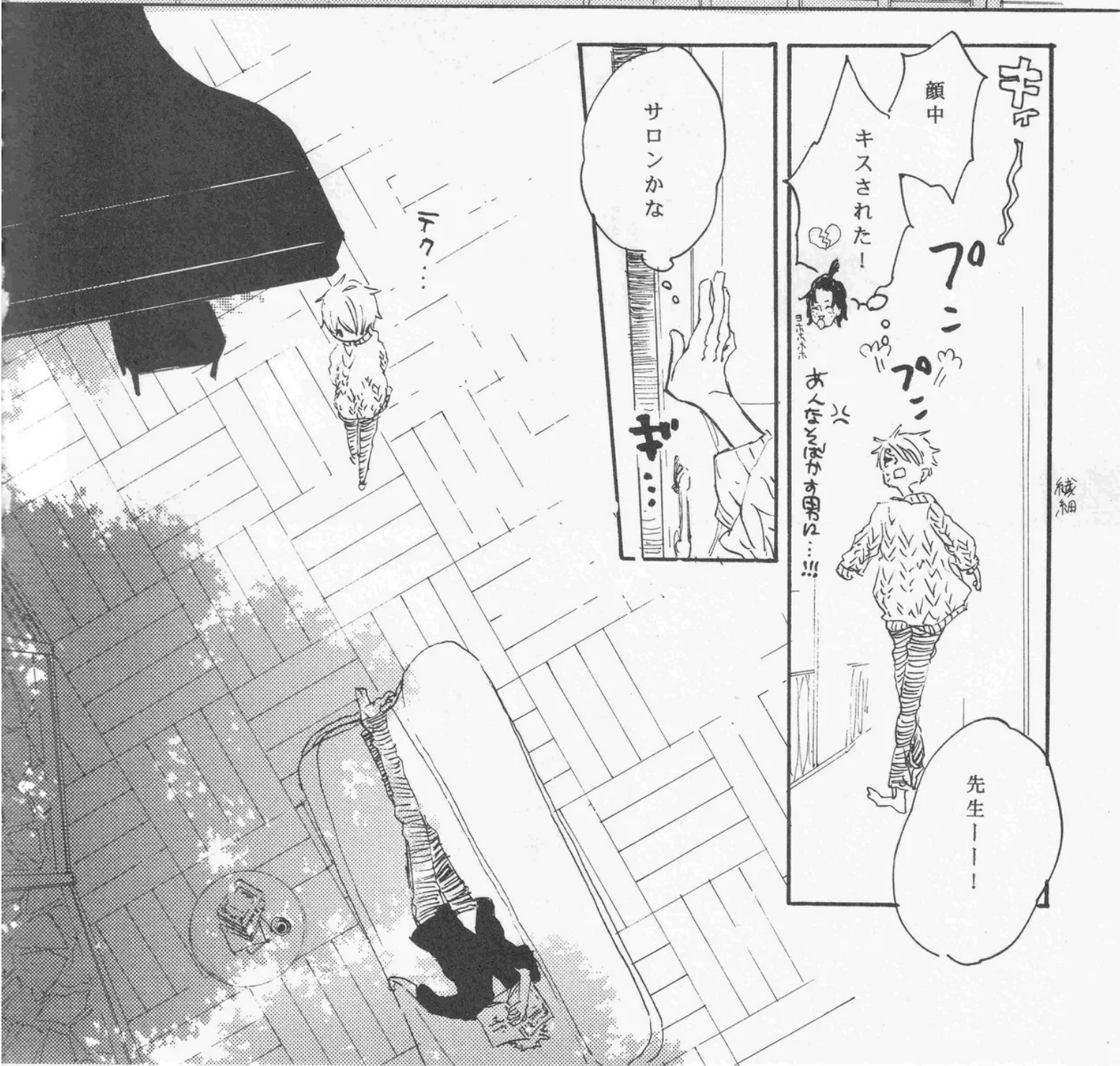






先生！

先生



サロンかな

キッ

顔中

キスされた！

70ニ

70ニ

お人などかす男は...!!!

先生——！

絨細





ホー...

ホロニ



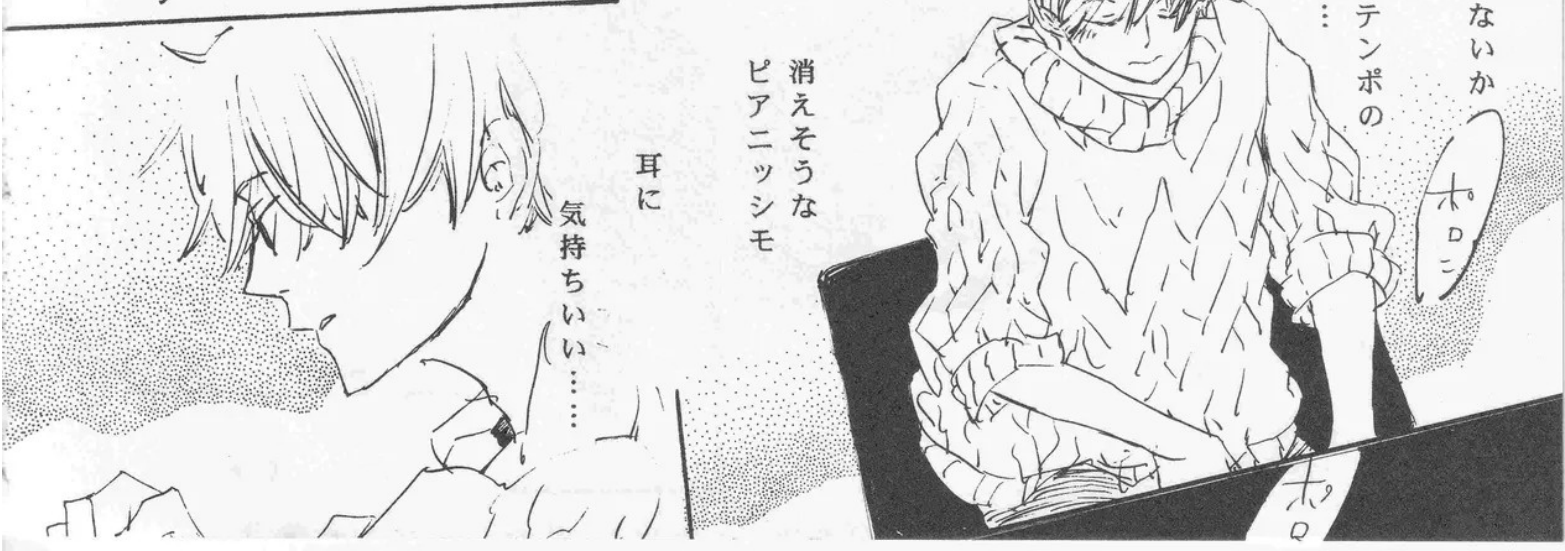
あ...

ホロ

気が効くじゃないか

スローテンポの
サティ:

ホロニ



気持ちいい.....

耳に

消えそうな
ピアノツシモ

ホロ

弾く

『あなたが欲しい
ジュ・トウ・ヴ』

まるで

鍵盤に羽が舞い落ちて
出たような音で

いとおしくも
バカだ



Je te veux*

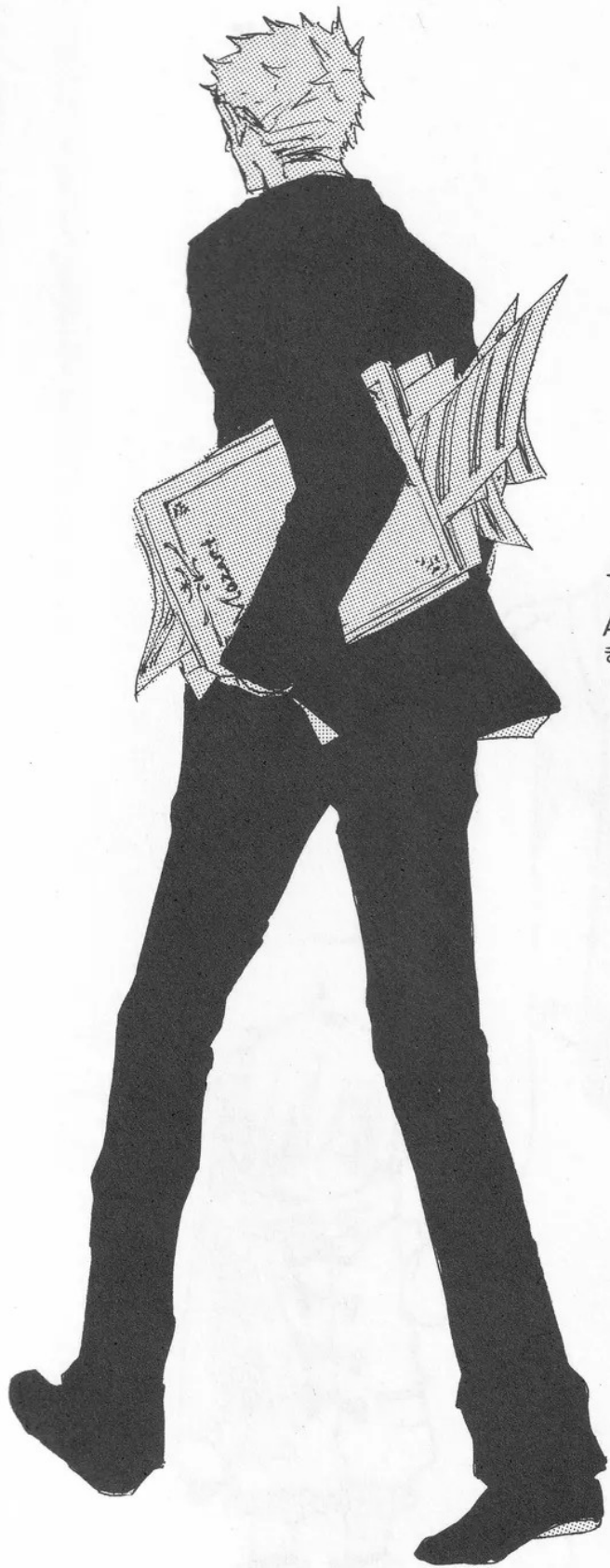
ジュ・トゥ・ヴー

わたしは少しも悔やまない

願いはたったひとつだけ

あなたのそばで、すぐそばのここで、

この生涯をおくること



ママ、聞いてちょうだい
Ah!vous dirai-je Maman(K.265)
きらきら星変奏曲

第一線を退いて
間もない頃だった

見てほしい
ガキがいる

店の都合でしばらく
国に戻るんだが
向こうではピアノの
勉強ができねえ

寄宿制の音楽院
にも入れてみた
んだが――

ふ！
ちよいと
難しい奴でな
半年で
ドロップアウト
しちゃった

※退学のこと

ひとつ頼まれて
くれねえか



しあつま



ニヤリ

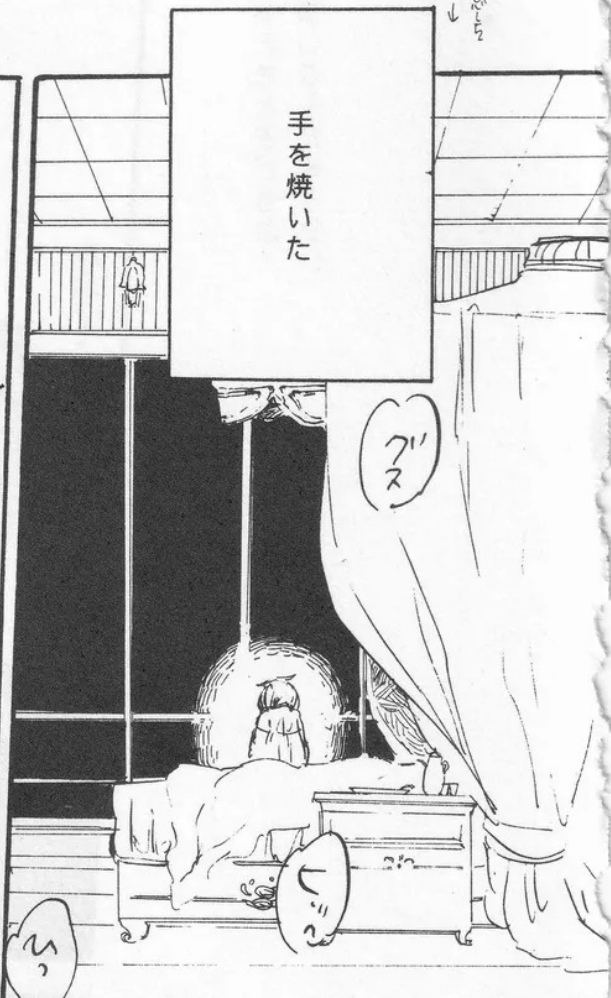
よろしく
頼むぜ



無理です

とは
言わせねえがな

か7が用まじら
寝具 ↓



手を焼いた



74
2

(5)

じじい

77
3...

いつえーん...

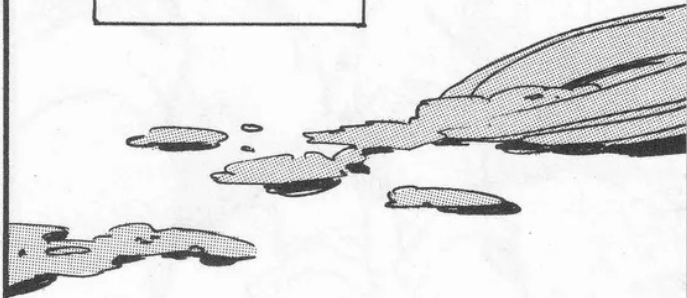
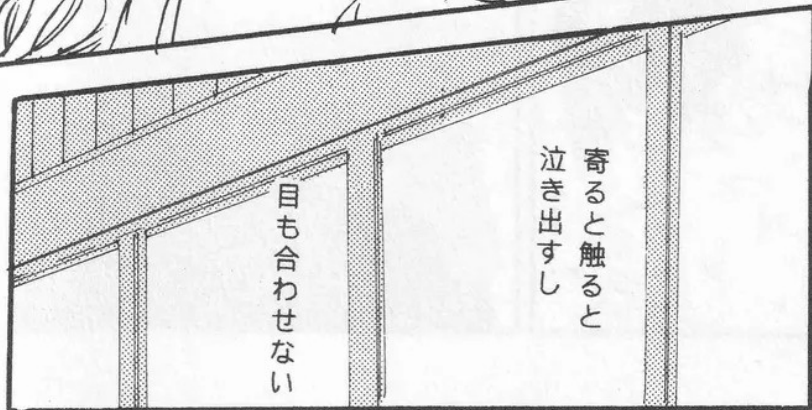


カニシヤ



最初の3日は
食事もまともに
摂らず泣き通し

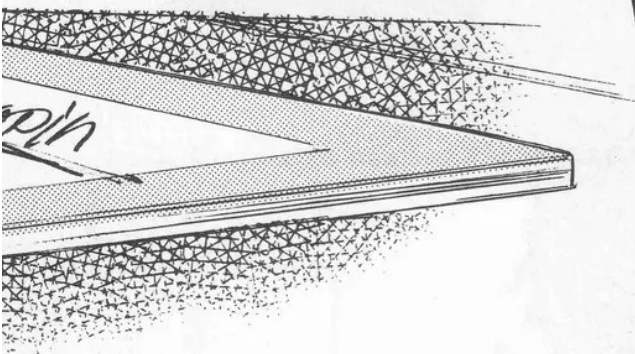
無理矢理
食わせたなら
吐き戻した



もともと子どもの
扱いなんか知らない



参った



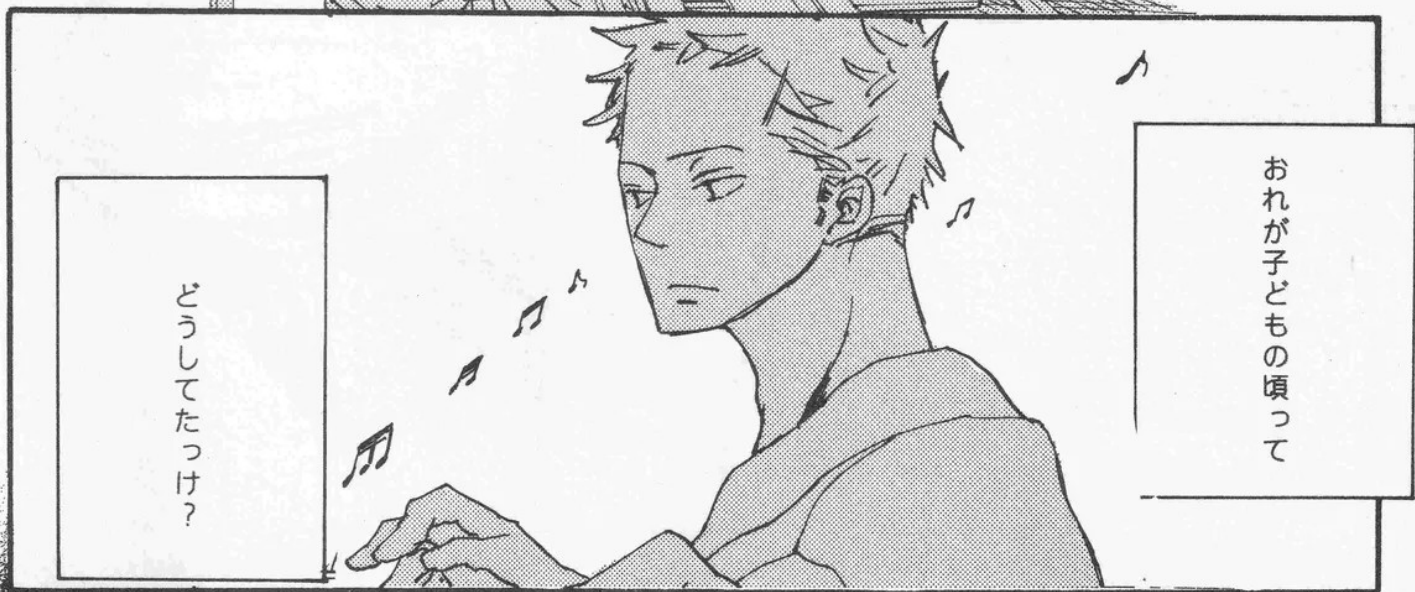
for...



ホ
ロ
ニ



ぬまき...



どうしてたっけ？

おれが子どもの頃って



カタニ



何か

何か

ピアノを始めた
きっかけは？
面白いこと
楽しいこと
感動したこと...





勝手に

キカッ
キカッ
野ばら行進曲

だがな
ロロノア...

チビナスが
面倒なのは
これからだ

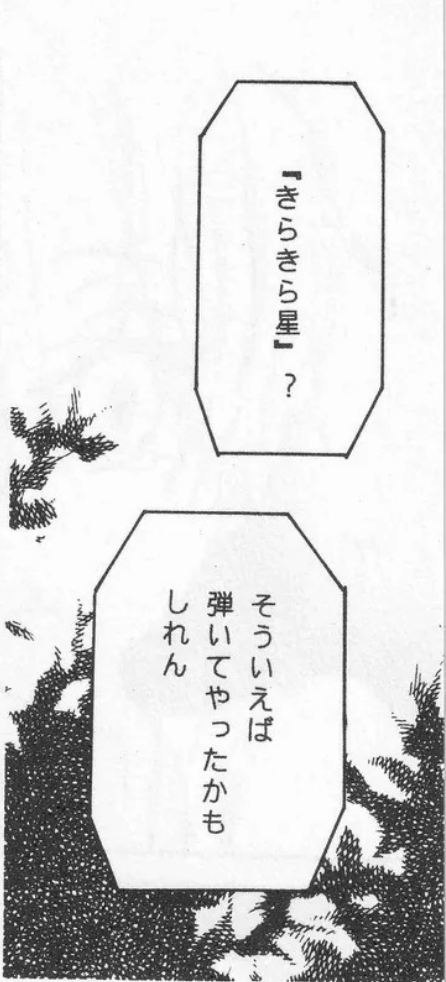
は？



先に教えてくれ...

げっ
そり...

いちいち覚えてるか
そんなもん



『きびきび星』？

そういえば
弾いてやったかも
しれん



スッポンのように
食いついて離れねえ

一度なつくと
しつこいぞ

あいつはな...



そしておれは
もしかしてもう
帰れないかもしれん

よろしく頼む

ガ
チカッ

ま...
ゆっ
っ

16 15...



そうして



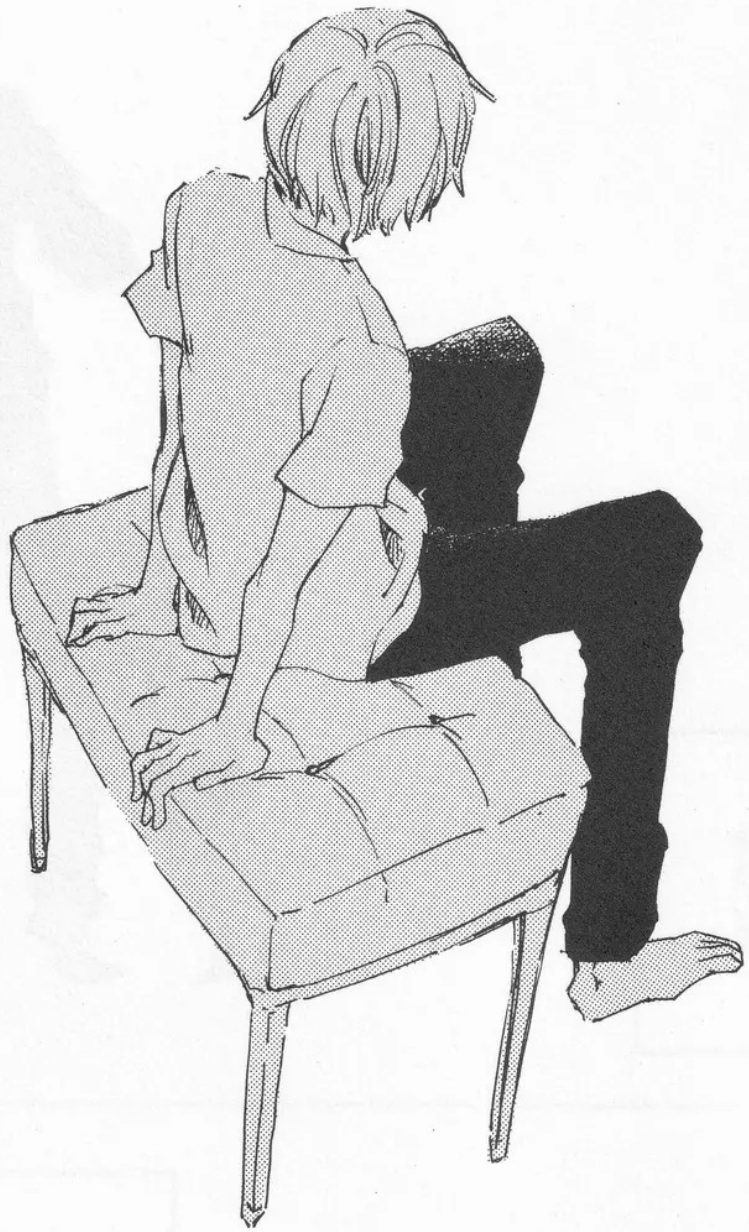
サマシが
砂浜へはナマコを貝がけで
できた曲をうたう



♪♪
♪ ちゅんと海
♪ へんすね

♪ ナマコ
♪

と、こいがかい曲です



Sérénade

*原義は「夕べに恋人の窓下で歌い奏でられる愛の歌」。
夜曲。小夜曲。

『奔放なる男装の女流作家
ジオルジュ・サンド』

シヨパンの代表作のほとんどは
彼女の献身的な愛情に
支えられて暮らした8年の間に
作られたものだ』

『蜜月だ、8年もの』

最後のひと言を
ことさら強調して言ったあと、

今日のレッスンは始まった。



クライマックス
への展開

アルペジオ!

違う!

ハネるな

走るな

もっともっとと
聞かせてみせる

感情の膨らみを

焦がれて

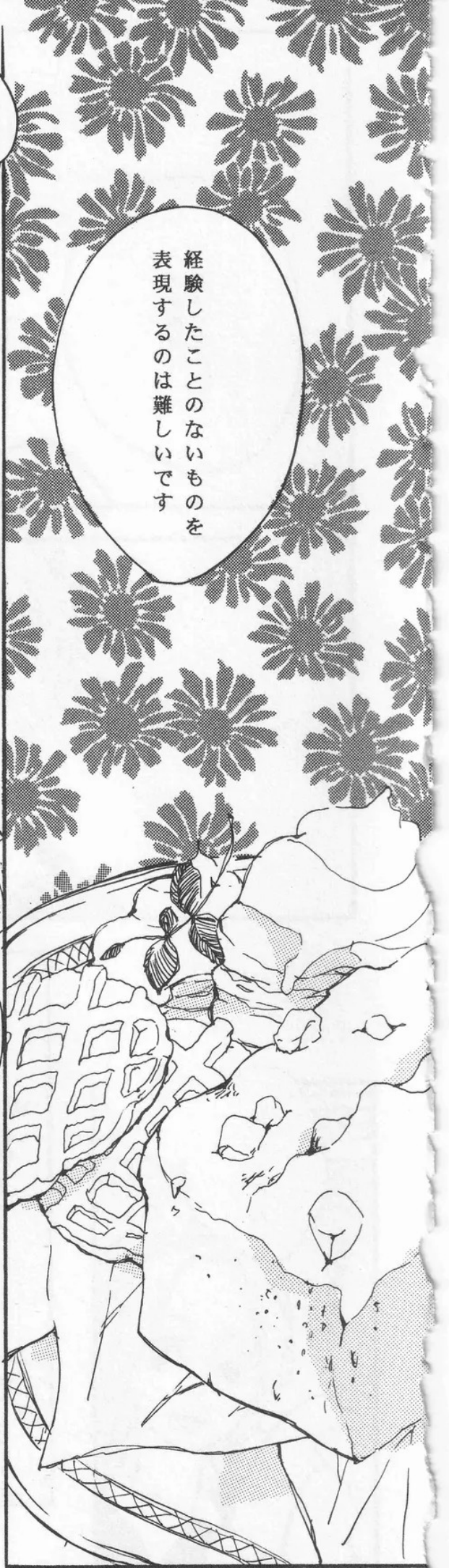
彼は蜜月の
さなか
最中にいるんだ!



「蜜月」



ん？



経験したことの無いものを
表現するのは難しいです



考えなくても
わかるさ人間は
ピアノにならない

少しくらい
考えてみたって

また
その話か

またって

それはだから
例え話でしょう！



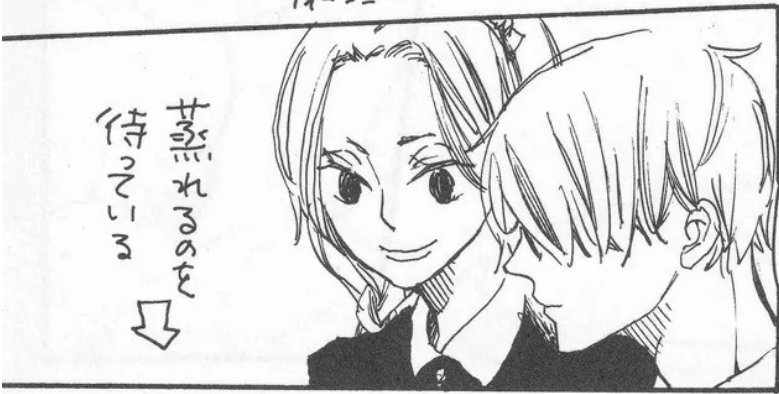
お茶うけは全とサミツか食ハる





おつかしーな
すごく神経使って
入れたのに：

ハルカ
レポート



甘えられるの
待ってる
↓



先生が
まずいって！

まあ

私がいれ直し
しましょうか？

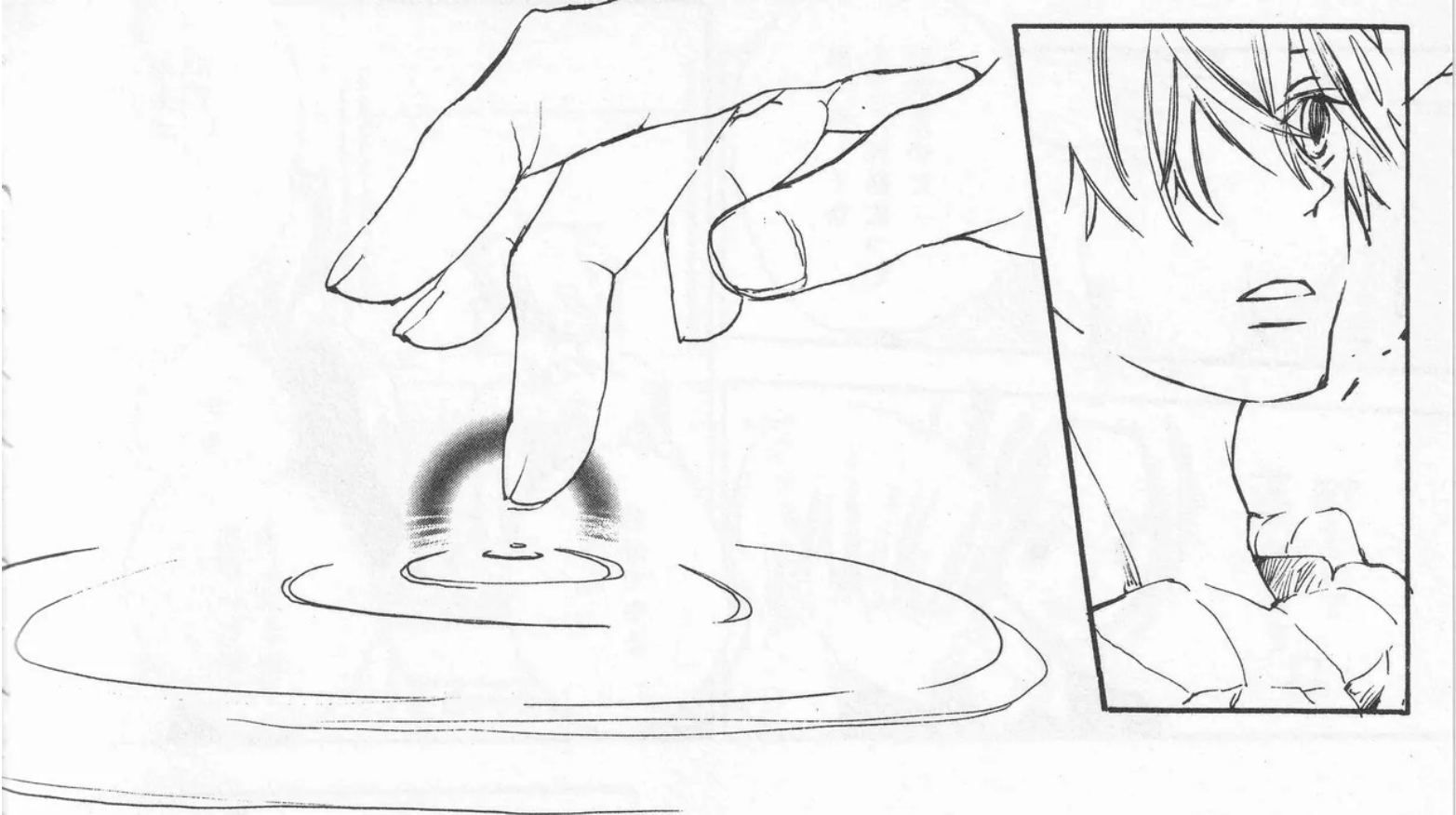
ううん
自分でやる



うーん？
おれもしかして
はぐらかれた！？

？

天然



「神の祝福」…

「孤独の中の」



その感覚は
海で波に攫われる
時のと似ている

心が音源へ
引つ張られて

先生のところへ
飛んで
行きたいのに

身体がその邪魔をする

そんなことを
真面目に考えて
しまうくらいに

ホ
ー
ニ

「ピアノに

なりたい」なんて

ホ
ー
ニ

もう一度言ってみたって

きつとまた
取り合っては
もらえない

学習した

(ホロ)

♪

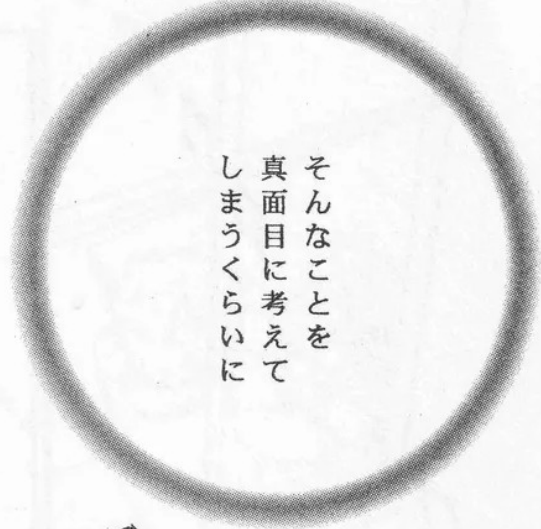
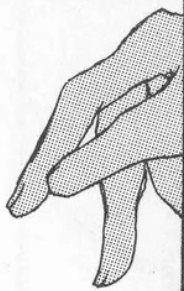
♪ (ホロ) ♪

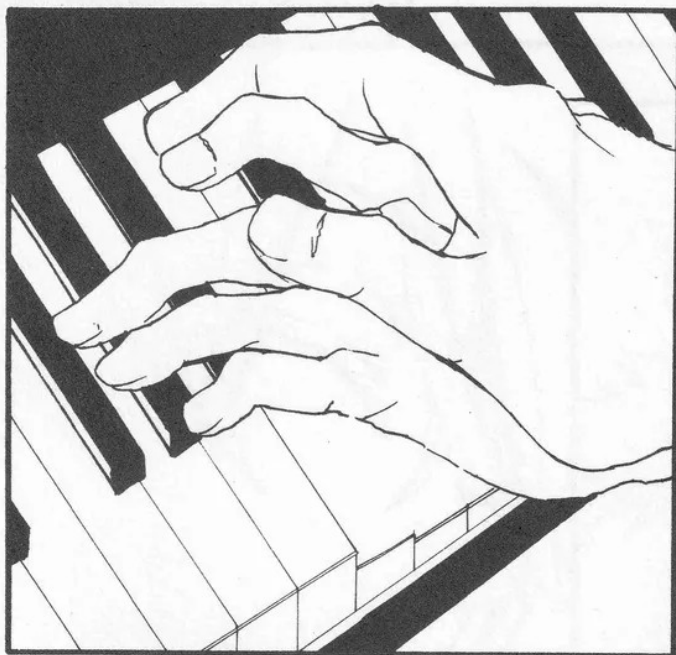
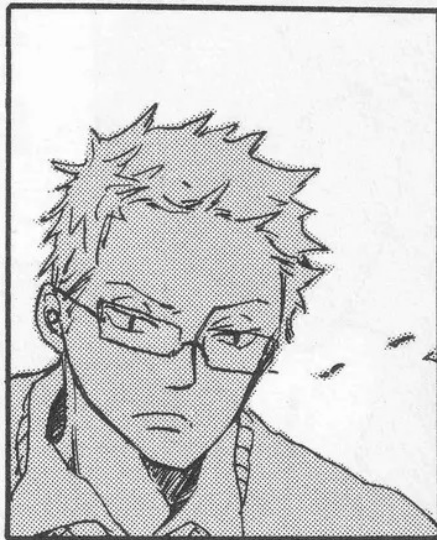
…「蜜月を

経験したことが
ない」とか

でも

いい





もう
リストだって
弾けるよ



届かないよう
そういう時はほら
空いた親指を
下からくぐして
もってきて



いつの
間にか

短かった
子供の指が

太く

リストは指遣いが大変なのが多い



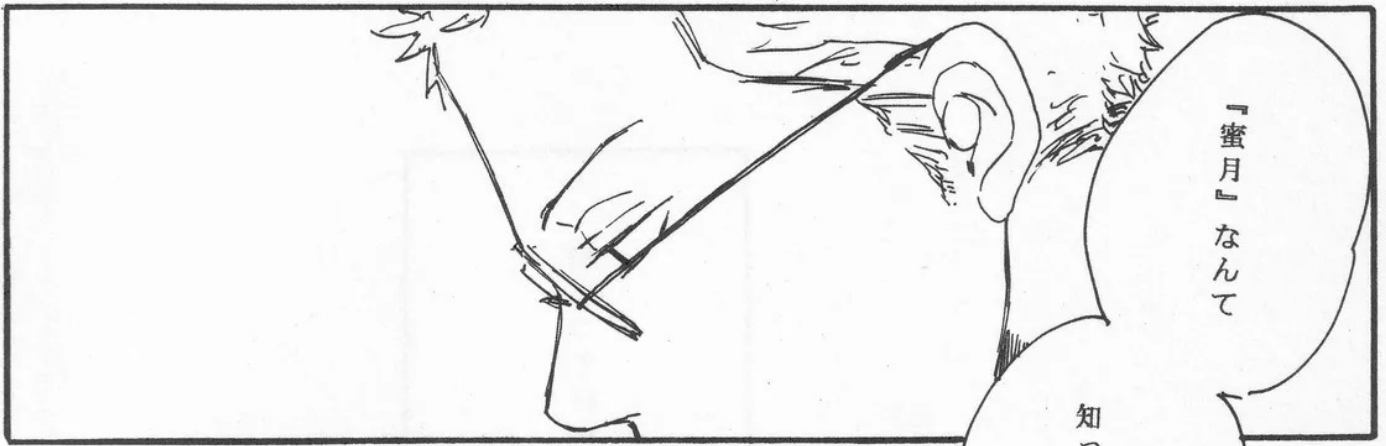
よく見たこと
なかったが



—— 経験したことの
ないものを...

「蜜月」とか...



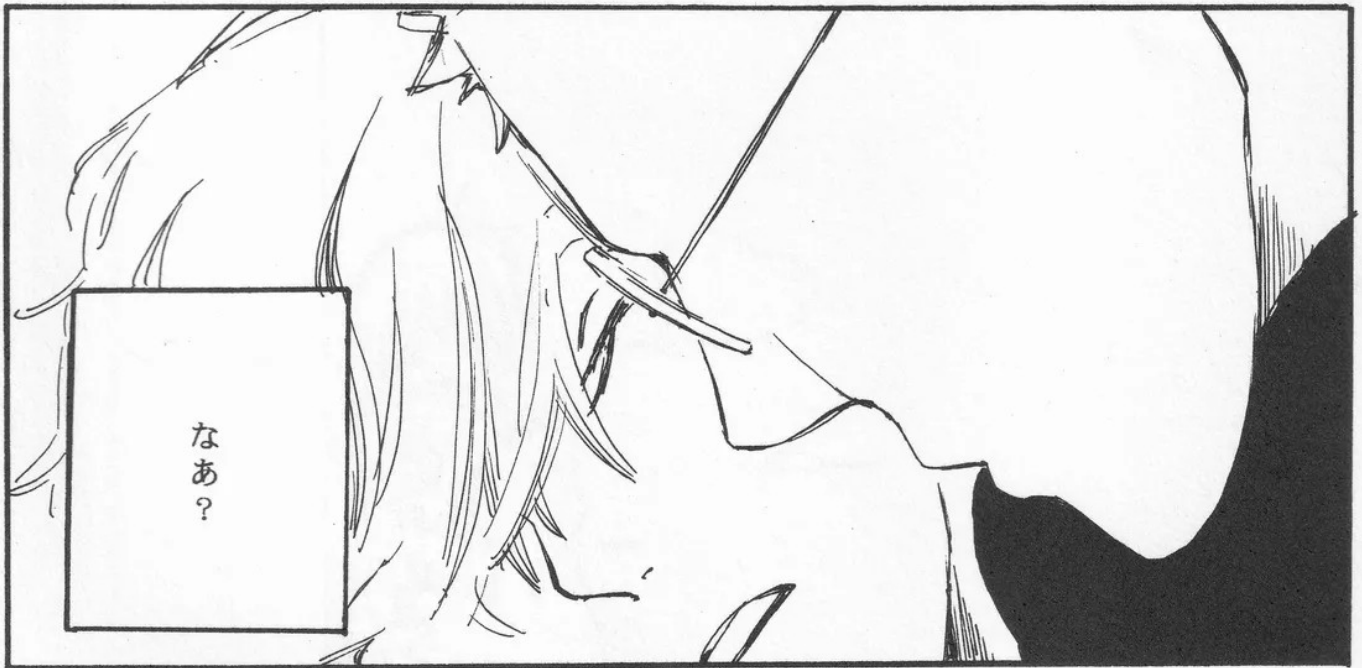


「蜜月」なんて

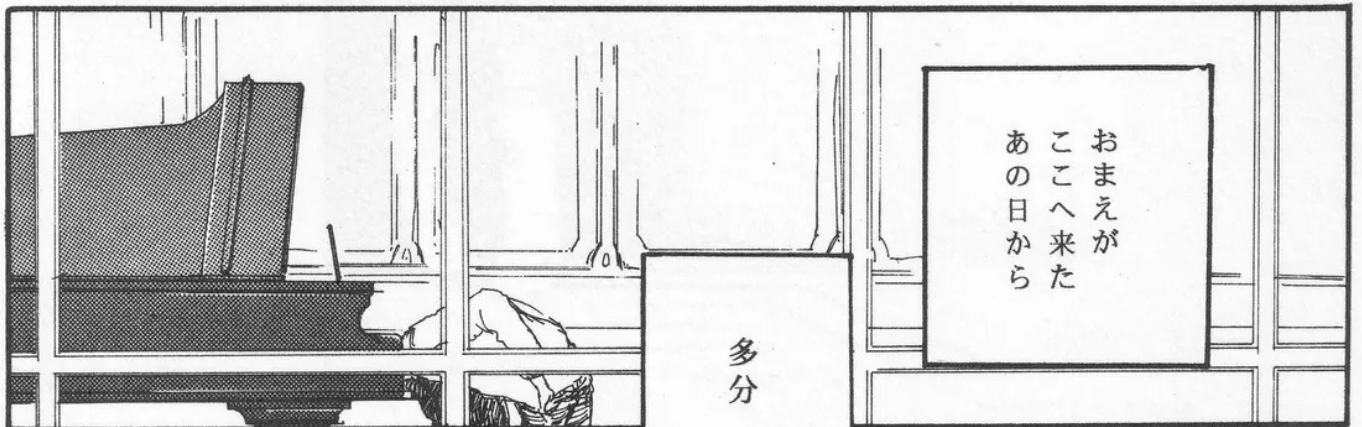
知ってるじゃないか



今だって



なあ？



おまえが
ここへ来た
あの日から

多分

始
ま
っ
て
い
た
ん
だ



<愛のあいさつ>



曲一覧です

正式名称があやしいのでほんの参考程度に…

すべて私の趣味でわりかしい加減です

*

ベートーベン 「悲愴」

ショパン 「ノクターン第2番」

サティ 「ジュ トウ ヴ」

乾涸びた胎児 より「ナマコの胎児」

「ピカデリー」

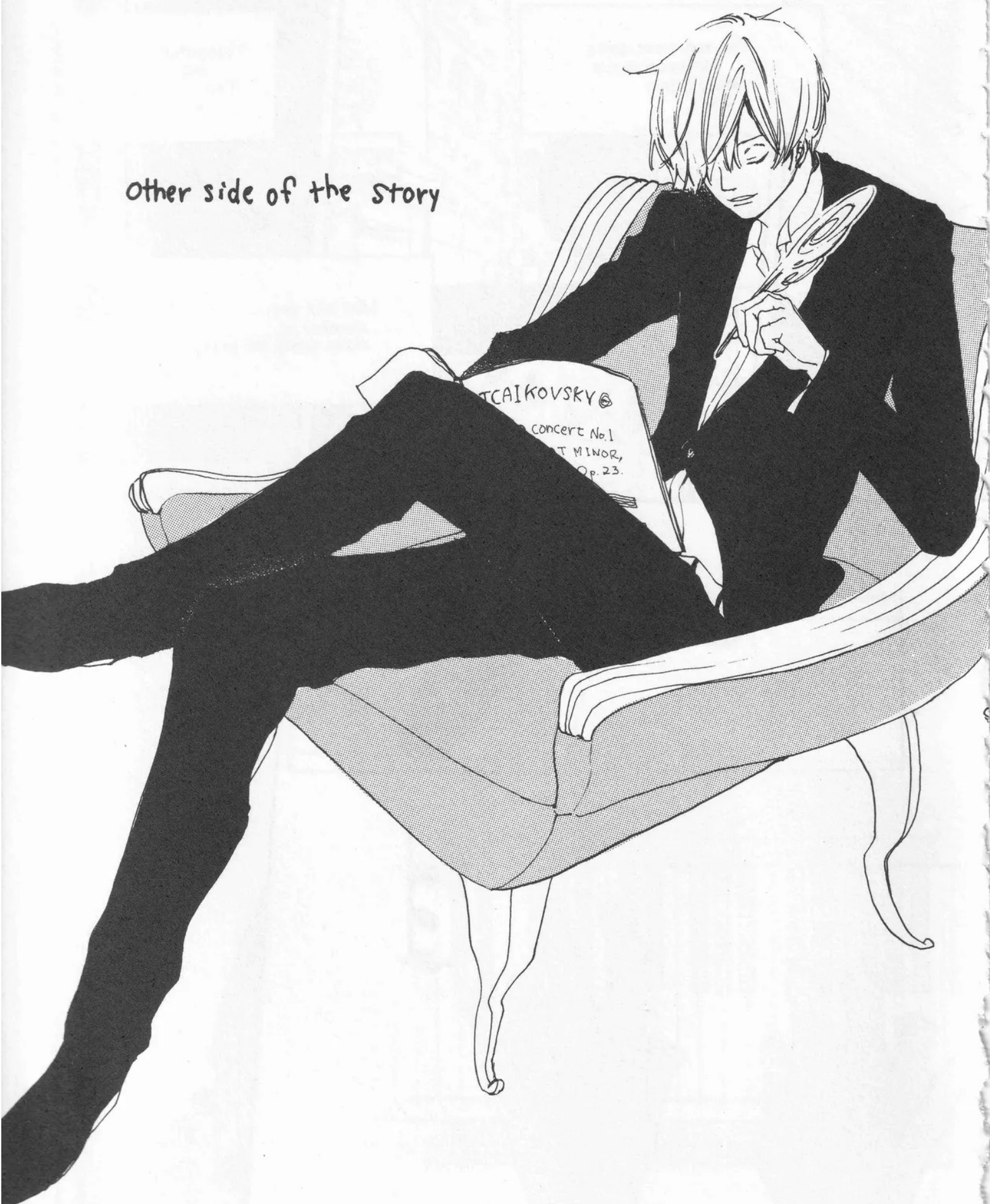
リスト 「孤独の中の神の祝福」


モーツァルト 「きらきら星変奏曲」



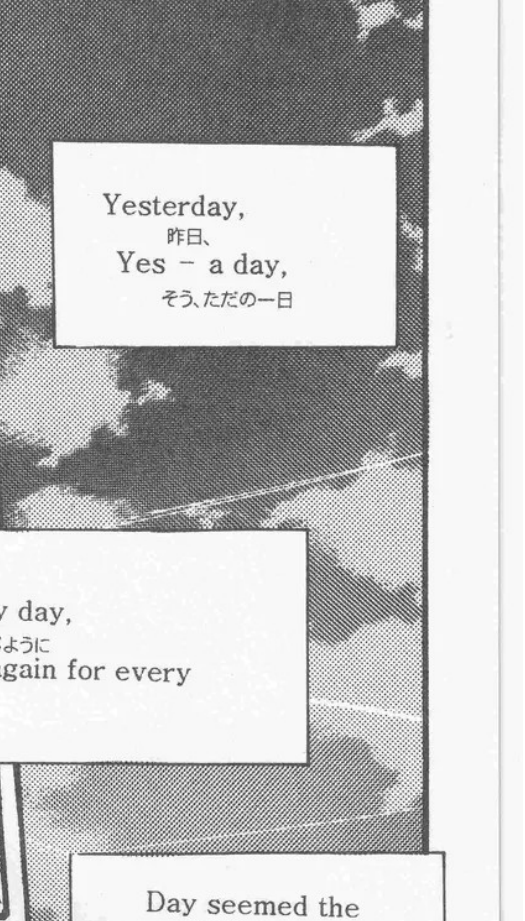
会社の人
おちくち

Other side of the story

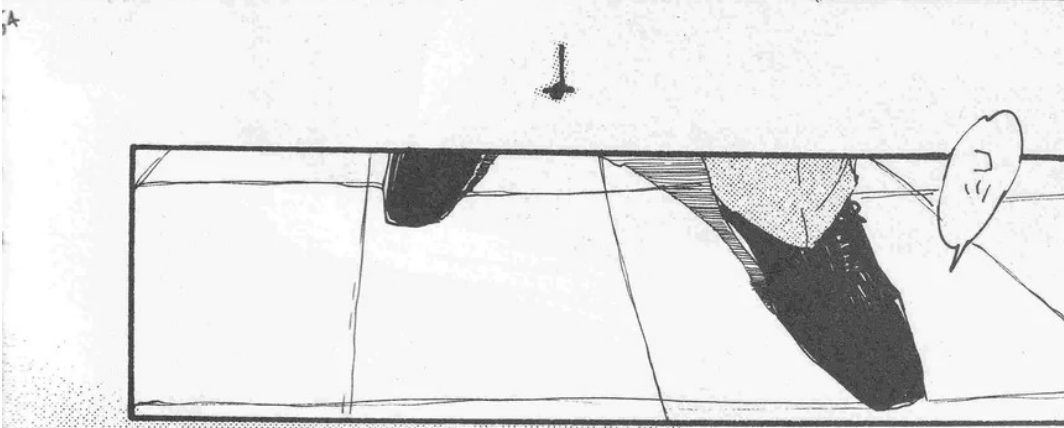




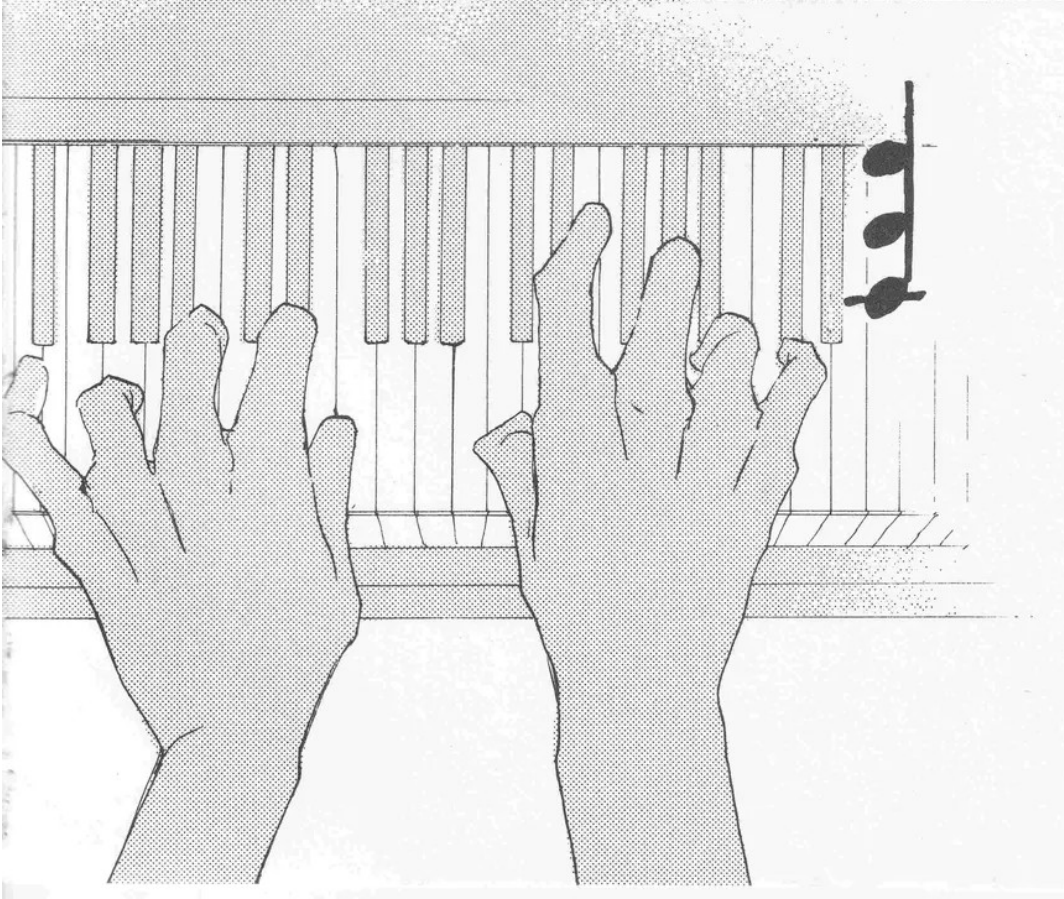
The sun went down
太陽はわたしがいなくても
without me,
沈んだ



Yesterday,
昨日、
Yes - a day,
そう、ただの一日



Like any day,
毎日が同じように
alone again for every



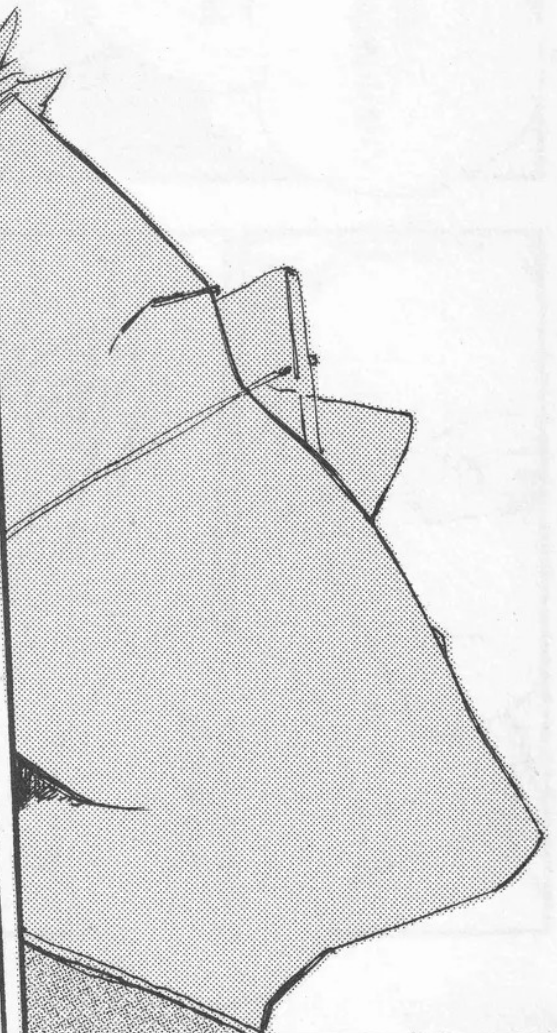
Day seemed the
ひとりぼっちで
same sad
悲しく過ごす
To pass the day.



Suddenly someone else
突然誰かが
has touched my shadow,
わたしの影にふれた

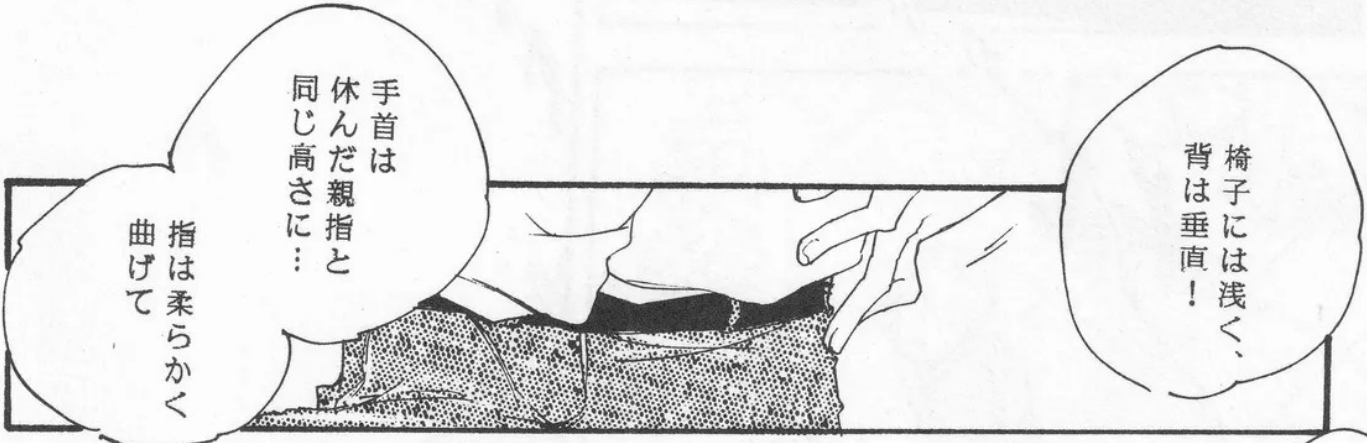


He said,
彼は言った



Bon soir !

Hello!
「こんにちは」



椅子には浅く、
背は垂直！

手首は
休んだ親指と
同じ高さに！

指は柔らかく
曲げて



だめだめ
固すぎ

指に針金が
入ってるみたい



はい
そのまま

1の指から
.....

ストップ！
ストップ！

ひどい

いつもの営業帰り
潇洒なアパルトマンの窓下
流れ出るジエーン・パトキンに
誘われて

彼の部屋のドアを叩いた

彼はデビューしたての
駆け出しのピアニストで

そのメロディに
興味を持った俺は
演奏活動だけでは
生活が心もとない彼に
報酬を支払い

週に1度
ピアノを教わりに(兼聞きに)
くることにしたのだ



…関節でね
弾こうとするん
じゃなくって

でも
練習のやりすぎは
ダメですよ

指を
傷めてしまっかど

あなたみたいに
熱心で真面目な
人なんか特に

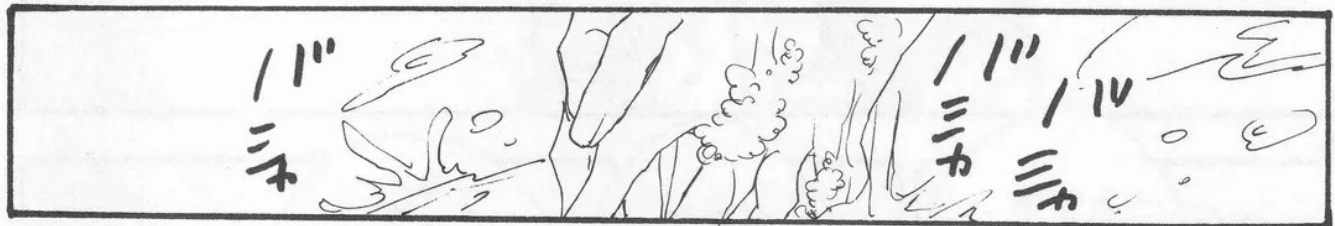
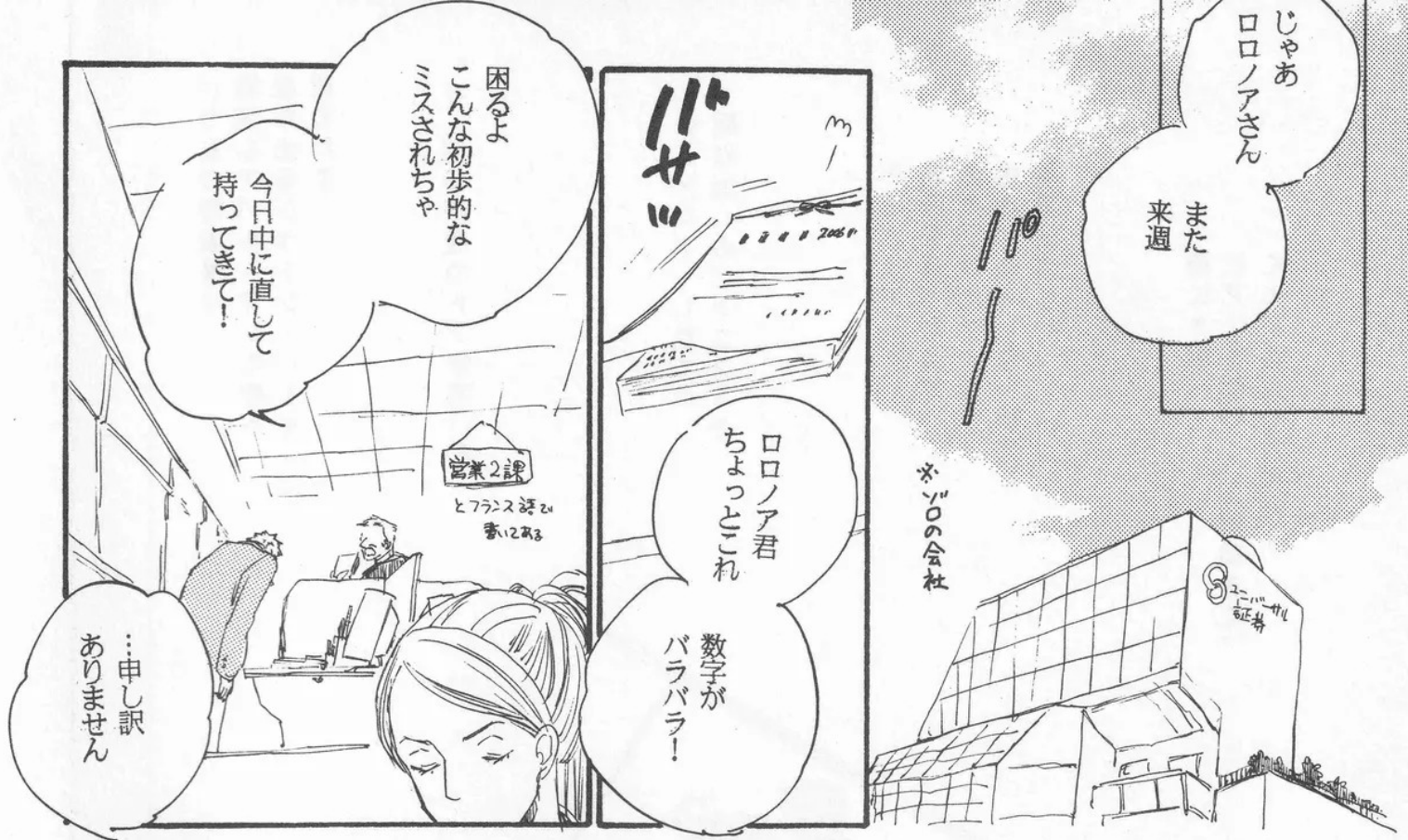
筋肉を柔軟に
動かして弾く
イメージです

「っ」
「んんん」

時々こうやって
緊張をとってあげて
くださいかね

腱鞘炎とか
関節炎に
なっちゃっつ

若い



彼には
男の恋人がいた



その時確かに
何か逆らえないものに
一瞬にして
囚われてしまった
彼は恋人と
抱き合っていた

何事も
始まり方は
いつだって劇的で
そして陳腐だ。

男であるはずなのに
なまめかしくうねる
彼の裸から
俺は目を離せないでいた。

見とれていたのだ。



1年もひっばってまだここかよ！と驚きを隠せないわたしです。読んでくださってありがとうございました。ピアノに限らずなのですが 別に請われてやっていることではないし、ほとんど自分が楽しいからやっているだけのことなんです。たまにちょっとでも、何か反応をいただけるということがあって、そういう時のよろこびのおかげで続けていられて、再録に踏み切れたりしているのです。ほんとにありがとうございます・・・よよよ。最後になって本気モードですみません。

それにしても1年・・・絵もけっこう違う・・・
またこの拙さもわたしの一部分ということで修正は少なめです。
むなしい。焦点を合わせないようにして読んでください。

いろいろ原稿を見直していたら、最近出した「3」の前記で「ソロとサンジがドッキングするまでは」と言っていました。そんな描写本人も想像できてません。この人達はそこまでたどり着けるんだらうか。せつない。

このさきどこへ行くのかわたしにもよくわかっていないのですが(えっ)、そういう模索していく感じも楽しみつつ続けたいと思います。次からはペースを上げてさっさか進んで行きたいです。と毎回言っている・・・
もうしばらく、お付き合いいただけたら嬉しいです。
それにしてもソロはいったいいくつなんだ・・・

どうもありがとうございました。

2005年 初秋 伊藤でした

再録一覧

*

ピアノの恋人 2004 10 24

ピアノの恋人 2 2004 12 29

ピアノの恋人 other side 2005 06 19



ピアノの恋人(再)

05 10 02 夢際玉虫

〒167-0023
杉並区上井草
3-11-16-203
伊藤 陽子

ゆめぎわオンウェブ
<http://yoco.oops.jp/>
yoco@co.oops.jp

